

文化系サークル団体

常三島地区 (30団体)

- 交響楽団
- 演劇部
- 映画研究会
- 写真部
- 美術部
- 茶道部
- ギターアンサンブル部
- リーダークライス
- マンドリンクラブ
- 文学クラブ
- 東洋哲学研究会
- 書道部
- フルバンド部
- ポップス研究会
- 児童文化研究会
- 虎林園
- フォーク村 (F.V.T)
- コンピュータクラブ
- イラストレーション研究会
- 放送研究会
- 邦楽部
- アストロラブ
- 将棋部
- 囲碁部
- デジタルアート研究会
- 中国語サークル
- ハンドメイド部
- ライブラリー・ワークショップ
- 競技かるた部
- AIVO

蔵本地区 (4団体)

- 蔵本茶道部
- 蔵本軽音楽部
- 蔵本外国語研究会
- 蔵本将棋部

体育系サークル団体

常三島地区 (38団体)

- ヨット部
- 硬式庭球部
- 柔道部
- バasketボール部
- 卓球部
- 陸上競技部
- ソフトボール部
- サッカー部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 弓道部
- 水泳部
- バドミントン部
- ソフトテニス部
- バレーボール部
- 潜水科学クラブ
- 硬式野球部
- 拳法部
- ラグビー部
- ユースホステル部
- 空手道部
- 合気道部
- 剣道部
- モダンダンス部
- ハンドボール部
- アメリカンフットボール部
- 釣り部
- ラクロス部
- 軟式野球部
- フットサル部
- 自転車競技部
- サーフィン部
- ボルダリング部
- 自動車部
- ボート部
- 新体操部
- ライフル射撃部

蔵本地区 (12団体)

- 蔵本弓道部
- 蔵本合気道部
- 蔵本剣道部
- 蔵本空手道部
- 蔵本柔道部
- 蔵本硬式野球部
- 蔵本ソフトテニス部
- 蔵本バドミントン部
- 蔵本バスケットボール部
- 蔵本卓球部
- 蔵本ラグビー部
- 蔵本硬式庭球部

サポート系サークル団体

常三島地区

- 学生ボランティア
- 繋ぎ create
- らぱっと編集部
- 学びサポート企画部
- 阿波ビブリオバトルサポーター
- Sport - VIP
- ふるさと愛好会
- ACTIVE

サークル紹介

Introduction of circle

学生生活を有意義に送るためには、勉学に励むとともに広い視野を求め、幅広い情報を身につけ、健康な心身を育成して、全人的な成長をはかることが大切です。各人の趣味や個性、あるいは生活条件に適應したサークル活動に自主的創作意欲をもってあたられば、必ず人格が磨かれ、学生生活は明るく潤いのあるものになるでしょう。

なお、大学祭は、サークルにおける自主的活動の集約・発展の場として、講演会、展示会、音楽会、演劇会、体育祭、前夜祭などを総合した催しであり、毎年多くの市民の参加を得て行われています。



日本は第二の故郷です。なぜなら、私は人生の3分の1以上を日本で過ごしたからです。子どもの頃から、海外へ行くことが私の夢でした。両親は「たくさん勉強してよい成績がとれたら、どこでも自由に行ける」と言っていました。2002年に、マレーシア政府派遣留学生として初めて海外へ行くことになりましたが、

その国は日本でした。初めて日本に来たときは日本語や日本の文化が分からず、不安だらけの生活でした。しかし、先生と友達が優しくいろいろと教えてくださり、日本語や文化などが少しずつ分かるようになり、日本の暮らしが快適になっていきました。卒業後はパナソニックに入社しました。当時、ITエンジニアを扱う最先端技術の部署に配属され、日本の優れた労働倫理、学習・勤労意欲、道徳などを実感し、モノづくりの楽しさと達成感も感じました。その後、子ど

ものときから好きだったロボットについて学ぶため、大学院に進もうと決めました。そして、制御やロボットの研究をしている徳島大学の安野教授と出会いました。徳島大学では安野先生に大変お世話になり、研究室も良い環境で自由にモノづくりができ、イノベーションの楽しさも実感しました。徳島は物価が安く、ハラルやおいしいものが沢山あり、自然も豊かで、とても住みやすいところでした。

2010年に修士課程を修了し、マレーシアマラッカ技術大学(UTeM)に戻って講師として働き始めました。日本で学んだことや経験したことを母国の発展に活かすため、大学での授業を通して日本の良さを学生たちに話しました。また以前、安野先生に「一度研究をやめたら、研究モーターメントを取り戻すのは大変だ」と言われていたので、積極的にロボットや福祉関係の研究を続けました。マレーシアでは安野先生とともに外部資金(科研費)を得て研究を行いました。安野先生の推薦で国費奨学金を受けることができたため、2014年に再び徳島大学に来て、障がい者の歩行支援の研究(視覚障がい者のための障害物回避の誘導など)を行っています。研究成果をジャーナルに投稿したり学会で発表したりし、国内と国際的な賞を三回受賞することができました。特に誇りに思っているのは、2016年に武田計測知財団のヤング武田賞の優秀賞を受賞したことです。

家族を持っていて私は、仕事の時間と家族との時間のバランスをとり、二つを両立させることが大切だと考えています。マレーシアには雨季と乾季がないので、日本の四季を家族で感じたいと思っています。休みに家族と日本中を旅行し思い出をつくるのが楽しみです。博士号を取得したらマレーシアに帰国し、徳島大学との架け橋となって、共同研究を進めていきたいと考えています。母国を日本のような良い国にするように、これからもがんばりたいと思います。

What's happening?

第二の故郷、日本

大学院先端技術科学教育部 博士後期課程3年

ANUAR BIN MOHAMED KASSIM

[マレーシア] (アヌワビン モハメドカシム)

留學生 滞在記



現在の研究室の様子(障がい者のための歩行支援デバイスを研究)

家族を持っていて私は、仕事の時間と家族との時間のバランスをとり、二つを両立させることが大切だと考えています。マレーシアには雨季と乾季がないので、日本の四季を家族で感じたいと思っています。休みに家族と日本中を旅行し思い出をつくるのが楽しみです。博士号を取得したらマレーシアに帰国し、徳島大学との架け橋となって、共同研究を進めていきたいと考えています。母国を日本のような良い国にするように、これからもがんばりたいと思います。



安野研究室での様子(修士のとき)

家族と世羅高原へ旅行